

4

演 題 みんなで一緒にみつけよう！ みんなで一緒に考えよう！

法人名	横浜市
施設名	横浜市北上飯田保育園

発表者名 (職名)	鈴木 野枝 (保育士)	住所	横浜市泉区上飯田町3050-3		
発表者名 (職名)		TEL	045-803-7889	FAX	045-803-7942
発表者名 (職名)		メールアドレス	no39-suzuki@city.yokohama.jp		
		URL			
		定員	77名	職員数	28名

発表の概要・内容
<p>《実践内容》 5歳児クラスでは年間を通して、子どもの気づきを大切にし、気づいたことをみんなで一緒に考えることを、積み重ねてきました。 大切にしたのは子どもの声。 気づいたこと、考えたことをどうやって広げて、どうやって深めていくかという過程を大切に保育をしてきました。</p> <p>【春を探そう！】 春のうたの中から、春に関する生き物の名前を探してみました。 みんなの前で見つけたことを発表してもらいますが、みんなの前に出て発言するのは恥ずかしい子もいます。出てきた生き物を、絵でも描いてみることで、活動に参加する子もいました。 出てきた生き物の中で、メダカについて保育士が聞くと、みんなメダカを知らないことがわかり、絵本や図鑑で調べてみました。 その後活動は継続し、園内外の春の自然を探して、保育室に写真で掲示し、名前を探したり、図鑑で調べたりしました。家庭では日本語を使っていない子が、伝えられることに喜びを感じ、次々発見を皆に伝える様子がありました。</p> <p>【みんなで考える サマーフェスティバル】 サマーフェスティバルに向けての取組の様子です。「サマーフェスティバルって何だろう？」と皆で考える中で出てきた疑問は、「どうしてお祭りをするの？」というもの。さらに考えます。「お祭りって夏のお祝い」「お祝いするとみんなはどんな気持ちになる？」「嬉しい！」 みんなで嬉しくなるにはどんなことをしたらよいかを考えました。 映画を作りたいという子もいて、映画はサマーフェスティバルの予告CMを作ることにしました。 商品をいくつか作ったらよいかも一緒に考えると、「下駄箱のマークの数を数えればいい」となり、みんなで協力してマークの数を数えました。 一つひとつ話し合うことは、時間がかかりなかなか進まないのですが、自分たちの力で作り上げたサマーフェスティバルでした。</p> <p>【リレーの順番を考えよう！】 運動会に向けて、リレーの走る順番を考えました話し合いです。この話し合いでは、一人ひとりの名前を書かれたカードを用意しました。 カードを用意することで、友達が話した内容を目で確認しながら話し合いを進めていました。 お互いの意見を主張する中、ある子が提案します。裏返しにしてからまぜて、並べるのはどう？ 自分の思いだけを主張するのではなく、みんなにも思いがあることがわかって、どうしたら良いかを考えられるようになった、年長児らしい成長を感じる話し合いでした。</p> <p>《振り返り》 1年を通して、話し合うことを積み重ね、日常の中のちょっとしたことでも、子どもたちが考えられることは、自分たちで考えられるようにしてきました。また、保育士は子どもの考えや意見を引き出すサポート役になり、子どもたち自身が様々なことに気が付き、自分で考え決められる過程を大切にしてきました。話し合いを重ねることで、保育士がどう思う？と聞かなくても、子どもたちの方から「先生、こうしたらどう？」などと、次々アイデアが浮かんでくるようになり、話し合うことを想定していないときでも、子どもたちから発信し、生き生きと発言する姿が増えました。</p>

メモ